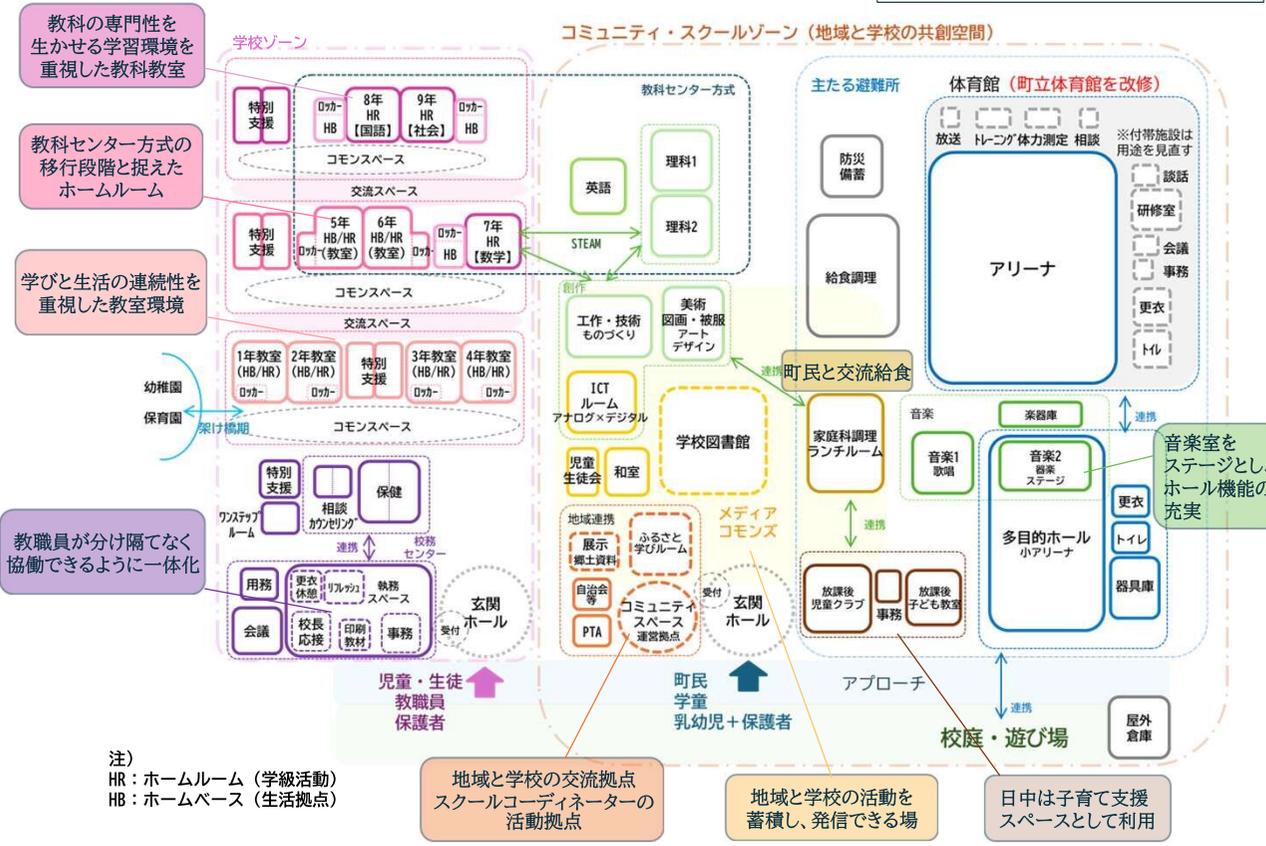


未来にはばたけ！ 半島まるごと学校

～真鶴町小中一貫教育校建設基本構想・基本計画～

施設構成(各室等のつながりやまとまり、ゾーニング)の考え方

教室と管理諸室による「学校ゾーン」と、学校図書館と特別教室、体育館、放課後クラブ等の子育て支援スペースによる「コミュニティ・スクールゾーン」で構成する。それぞれのゾーンを明確にすると同時に、ゾーンを超えたつながりを確保する。



計画条件

- ・真鶴中学校の校地を新校地とする。
- ・給食施設は自校方式とする。
- ・体育館は既存の町立体育館を使用する。
- ・新校舎の計画床面積は7,000㎡とする。

配置計画案

【課題】

- ・新校舎は町立体育館との接続を考慮し、配置する。
- ・駐車場と歩行者のアプローチが混在している状況を改善する。

【計画案】

A案 新校舎を北側に配置する案

- ・南に開かれたまとまりの良い校庭が確保できる。
- ・アプローチは現在と同様に南東角に確保し、東側道路と歩車分離を図る。
- ・北側住宅地の日照や通風、音対策に配慮が必要となる。



【配置計画A案】

B案 新校舎を東側に配置する案

- ・南東角からすぐに校舎に入ることができる。
- ・北側の住宅地の日照や通風が良くなる。砂塵対策を行う必要がある。
- ・既存校舎は校庭より1m程度高いため、この場所を校庭にする場合は切土工事を行う必要がある。
- ・隣地の一部に土砂災害警戒区域があるため、防災対策の必要がある。



【配置計画B案】

※本図は校舎の配置可能性を示すものであり、校舎の形を示唆するものではありません。

建設スケジュール(案)

- ・2030年4月開校を目指す。既存校舎の解体工事のため、2026年度には中学校が小学校の現校舎に移転する。

R12年度開校の場合		R6年度 2024年度	R7年度 2025年度	R8年度 2026年度	R9年度 2027年度	R10年度 2028年度	R11年度 2029年度	R12年度 2030年度
計画	基本計画							
設計		設計者選定3ヶ月 基本設計9ヶ月 実施設計 12ヶ月 (実質9ヶ月※)						
工事等				仮校舎改修工事 3か月程度 引越 (夏休み)		着工 解体工事	新築工事	竣工・引越
← 仮校舎使用期間 (8年強) →								
開校								

発達段階に応じて変化する教室まわり



多様な活動が行えるゆとりある教室

本格的な活動ができる特別教室



創作の場となる「アトリエ」

交流の場となる職員スペース



打合せもできるソファコーナー

気軽に訪れることができる共創空間



居心地の良いコミュニティスペース

【施設構成(模式図)案】